2023年12月20日（水）

「水曜サロン with 赤堀会長」第５期 第５回（通算６４回）

孤立した子供たちのオンライン現場から考える

１．内容

・DxPが取り組む社会課題とは？　10代の孤立

・10代の孤立を解決するための方法

・ユキサキチャットの現場から

・最後にお願いしたいこと

２．所感

ユキサキチャット、ご存じですか。私は恥ずかしながら知りませんでした。そして日本がこれほどまでに大変になっていることも知りませんでした。ユキサキチャットの支援対象となる13歳から25歳までの若者の総数は約1500万人、そのうち、ユキサキチャットで支援が必要になるだろう人の推定人数はなんと200万人。親を頼れない若者の困窮。そして、日本は、ひとり親家庭の貧困率が、OECD加盟国で一番高いという現状。ユキサキチャットには現在12500人ほどの若者が相談に来ているとのこと。そこで、様々な団体との協力で、食料や現金給付支援をされているようです。それだけでは問題は解決しないところもあり、チャット相談窓口を設け、進学・就職相談までサポートを行っているという話でした。相談に来られる若者は、バイト代や奨学金を親から搾取されたり、虐待を受けたり、ヤングケアラーであったり、物価上昇で生活が成り立たないとか、相談に来る状況は多様。質問では、一体親はどうなっているんだ、子どもを育てることもできなくなったのかという声も出ましたが、今井氏からは、親も虐待経験があるとか、ひとり親で相当生活が苦しい、そして経済的に厳しい家庭ほど、外部に頼れずひとりで子育てをしなければならず、大きなストレスを抱え、場合によっては、親本人が精神疾患を持っていて働けていないなど、厳しい現状をお聞かせいただきました。人に関して不寛容な社会が広がっているという感想もでました。今井さんご自身の話ですが、ある事件で、世間から相当なバッシングを受けて精神的に厳しくなり、社会復帰に5年かかった、その経験からこのお仕事を始めたというお話も聞かせていただきました。人は、ひとりでは生きていけない、それは生まれたときだけでなく、大人になってもそう。親をはじめ様々な人からの支援があっての自分。本日の今井さんのお話は、社会の成功者やリーダー含めて、社会全体に対して共有し、様々な場で議論して解決策を検討する時間が必要なのではないかと考えさせられる1時間でした。早速、ユキサキチャットのサイトを見に行きました。

今井さん、本日は、大きな社会問題について考える貴重なお時間をいただきまして誠にありがとうございました。

以上